

【地域教育文化学部】

1 募集人員

学科・コース名		実技検査区分名	募集人員（計14人）
地域教育文化学科	文化創生コース	美術分野	1人程度
		音楽分野	6人程度
		スポーツ分野	7人程度

2 趣旨

文化創生コースは、地域の人々の心身の健康や主体的な地域文化創生活動を支えることを通じて、多様な地域課題の解決や地域社会の持続可能な発展に貢献する意欲を持った学生を受け入れます。そのために、高等学校までの基礎的な学力や得意分野に関するすぐれた理解・技能を有し、地域文化のコーディネーター・ファシリテーターを目指す意欲を持った学生を受け入れます。

本コースには、次の3つのプログラムがあります。

- ①地域の健康を「こころ」と「からだ」の側面から科学的に分析し、支援できる人材を養成する「心身健康支援プログラム」
- ②地域住民が文化的に豊かな生活を構築するために、芸術的なスキルの実践を通じて貢献できる人材を養成する「芸術文化創生プログラム」
- ③大学院社会文化創造研究科社会文化創造専攻芸術・スポーツ科学コースに進学することを前提に、6年一貫教育を行い、「音楽芸術」「造形芸術」「スポーツ科学」分野において、スキルの更なる向上及び地域創生に貢献するための専門知識を養う「チャレンジプログラム」

上記のようなコースの特色に鑑み、美術、音楽、スポーツの各分野で将来性豊かな人材の発掘を目指し、総合型選抜Ⅰを実施します。

第1次選抜では、本コースで学びたい意欲と、そのために必要な実技の能力を、これまでの活動実績や成績等をもとに調査書、志望理由書及び自己PR書から判断します。

第2次選抜では、入学志願者本人に直接面接（口頭試問を含みます。）することにより、文化創生コースの教育目標やアドミッション・ポリシーの理解度、目的意識、学習意欲等について評価します。また、実技検査（美術、音楽、スポーツから1つを選択します。）を実施することにより、文化創生に関わる適性や実技の優れた能力等を測り、面接と合わせて多角的な観点から入学志願者の資質・能力と将来性を評価します。

3 出願資格・出願要件

次のすべての資格・要件を満たす者とします。

- (1) 次のいずれかに該当する者
 - ①高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和6年3月に卒業見込みの者
 - ②高等専門学校の第3学年を修了した者又は令和6年3月に修了見込みの者

- (2) 合格した場合、入学することを確約できる者

なお、大学入学共通テストは課しません。

※他学部の総合型選抜Ⅰ及び本学の総合型選抜Ⅱには同時に出願することができません。

4 出願受付期間等

- (1) 出願受付期間

令和5年9月1日（金）から9月6日（水）まで（土・日曜日を除きます。）

※持参・郵送ともに9月6日（水）まで（必着）

受付時間は、9時から16時30分までとします。

（注） 出願受付期間内に到着しない場合は受理しませんので、郵送（書留速達）の場合は、郵送にかかる日数を考慮して余裕を持って送付してください。

- (2) 出願書類の提出先

地域教育文化学部入試担当（21ページ参照）に提出してください。

5 出願書類及び出願手続

入学志願者は、インターネット出願システムから登録し、検定料を支払った後、入学願書が印刷できるようになります。入学願書を印刷の上、出願書類を一括し、出願書類提出期限までに本学に届くように郵送（書留速達）又は持参により提出してください。

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意	
入学願書	○ 入学願書は、検定料の支払い後に印刷可能となります。インターネット出願サイトから A 4 タテ片面でカラー印刷してください。 ○ 「入学志願者現住所」欄には、願書提出の日から令和 6 年 3 月 31 日（日）まで確実に郵送物を受け取ることできる住所を入力してください。 なお、電話連絡の際に呼び出しになる場合は、呼び出し番号（〇〇様方）を入力してください。	
調査書	○ 出身学校長が作成し、厳封してください。 ただし、高等専門学校については、文部科学省が定めた調査書に準じて作成してください。	
志望理由書	○ 所定の用紙を本学ホームページから A 4 タテ両面で印刷し、「文化創生コースを志望する理由」、「入学した場合どのような分野の勉強をしたいのか、分野名とその理由」に分けて、各事項について 400 字以内で記入してください。	
自己 P R 書 【人文社会科学部・地域教育文化学部用】	○ 所定の用紙を本学ホームページから A 4 タテ両面で印刷し、PR したい内容を 1000 字以内で記入してください。特に下記の①～③に該当する内容がある場合はそれについて記入し、提出してください。 ①学校内の特別活動や部活動等での顕著な成績。 ②学校外の活動（音楽・美術の場合はコンクール、演奏活動などを含む。）における表彰、受賞歴。 ③上記①及び②に記載の活動において、入学志願者本人が成果獲得に向けて取り組んだ具体的なプロセス。 なお、<u>評価の対象となる活動は高等学校在学時（中等教育学校においては後期課程在学時）のみとします。</u>（小・中学校時等の活動は評価の対象となりません。） ○ 自己 P R 書に記入した①及び②について、<u>表彰等の実績がある場合</u>、これらを証明する以下の書類等の写しを添付してください。 なお、<u>書式は A 4 片面（拡大・縮小可）に統一してください。</u> ・表彰状（大会が地区予選・本選等にわかれている場合は、最終的な成績がわかるもののみ） ・コンクール、発表会等に参加したことがわかるプログラム、演目等（氏名等の記載がある該当ページのみ） ※表彰状がある場合、同大会もしくは同コンクール等のプログラムを提出する必要はありません。	
添付資料	以下の各分野から、 いずれか一つ を選択し、指定する資料を提出してください。	
美術分野	A 4 判ポートフォリオ	○ 美術分野における過去の作品等を A 4 ファイルにまとめたもの。必ずその中に出願前 2 年以内に入学志願者本人が制作した A 4 サイズの鉛筆による人物素描と静物素描の作品実物（写しではない）をそれぞれ 1 枚ずつ含めること。素描に用いる用紙は自由とします。素描の制作時間は 3 時間程度を目安としています。 ポートフォリオは別途梱包の上、地域教育文化学部入試担当まで、持参又は書留速達で提出してください。（出願書類受付最終日までに必着） なお、梱包物に「ポートフォリオ在中」と朱書きしてください。 ※ポートフォリオは第 1 次選抜、第 2 次選抜いずれかの終了後に返却します。

出 願 書 類		出 願 書 類 作 成 上 の 注 意	
	美術分野	学校長等の 証明書 (様式任意)	○ A4判ポートフォリオが、入学志願者本人の作品であることを証明する学校長等の証明書（学校長による証明が困難である場合、造形教室の先生等、証明できる者の証明書であれば可）
	音楽分野		○ 【音楽分野】で受験する場合は、【声楽】【ピアノ】【管弦打楽器】【作曲】のいずれか一つを選択してください。 【管弦打楽器】選択者は、37ページ「7 音楽分野受験にあたっての注意事項」を確認してください。 ○ 受験者全員が、下記の二次元コード又はURLから演奏曲等に関する情報登録をしてください。  URL : https://forms.office.com/r/E9ekqcHpyK
		音楽の能力を測るもの	【声楽】【ピアノ】【管弦打楽器】 ○ 5分以上10分以内の演奏（反復記号の省略可、複数曲可）の動画データ ○ 「コールユーブンゲン」の以下の5曲のうち任意の1曲の動画データ 第1巻、原書番号No.48c), No.68, No.76c), No.78c), No.82c) 固定ド唱法又は移動ド唱法のいずれかを用いてください。 ※上記2本の動画データを提出してください。 動画データの提出方法については、本学部のホームページ「総合型選抜音楽分野 動画データの提出方法について」を確認してください。
			【作曲】 ○ 出願前2年以内に作曲した作品1～3点の楽譜（手書きが望ましい）の写し ※可能であれば上記作品の演奏音源を添付してください。 ○ 「コールユーブンゲン」の以下の5曲のうち任意の1曲の動画データ 第1巻、原書番号No.48c), No.68, No.76c), No.78c), No.82c) 固定ド唱法又は移動ド唱法のいずれかを用いてください。 ※動画データの提出方法については、本学部のホームページ「総合型選抜音楽分野 動画データの提出方法について」を確認してください。
		学校長等の 証明書 (様式任意)	○ 【作曲】受験者は、作曲作品が入学志願者本人の作品であることを証明する学校長等の証明書（学校長による証明が困難である場合、個人レッスンの先生等、証明できる者の証明書であれば可）
	スポーツ分野	スポーツ活動に関する調査書	○ 所定の用紙を本学ホームページからダウンロードし、入学志願者本人が主な競技成績等を記入したものを提出してください。ただし、主な競技成績等がない場合は、その旨を記入してください。なお、競技成績等がない場合でも、総合型選抜Ⅰ（スポーツ分野）への出願は可能です。
		競技成績等を証明するもの	○ 「スポーツ活動に関する調査書」に記入した競技成績（成績及び記録、試合出場状況）を客観的に証明できる資料（公式試合における本人の出場記録、公式記録あるいは大会報告書、表彰状、新聞記事事項、スポーツ専門雑誌記事事項、競技団体の機関紙の写し等）を必ず添付してください。 なお、書式はA4片面（拡大・縮小可）に統一してください。ただし、自己PR書に添付の証明書類と重複する場合は、同一の書類を改めて添付する必要はありません。

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意
出願書類提出用 角形2号封筒	○ 市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)を各自で用意し、出願書類をすべて封入し、出願書類提出用宛名シートをはり付けて郵送(書留速達)又は持参により、提出してください。
出願書類提出用 宛名シート	○ インターネット出願サイトから <u>A 4 タテ片面でカラー印刷</u> してください(入学願書と同時に印刷できます。)。角形2号封筒(24cm×33.2cm)の表面に、はがれないように全面のり付けではり付けてください。

- (注) 1 出願書類に記載すべき事項の記入もれ、その他不備がある場合は、**出願書類を受理しない**ことがあります。
- 2 記入に当たっては黒のボールペンを用いて、漢字は楷書で書き、数字は算用数字を用いてください。ただし、こすると消えるインキは使用しないでください。訂正する場合は、二重線で消し、訂正印を押してください。
- 3 出願書類に記入する氏名及び生年月日は、必ず戸籍上のもの(日本国籍を有しない者は住民票上のもの)としてください。ただし、インターネット出願システムに戸籍上の氏名を入力した際に、正しく入力できない場合は、入力できる文字に変更してください。
- 4 インターネット出願システムに入力後、出力したものを訂正する場合は、志願学部の担当部署(21ページ参照)に連絡の上、指示に従ってください。

6 選抜方法等

(1) 第1次選抜

選 抜 方 法	提出された調査書，志望理由書及び自己PR書の内容を評価します。 配点は次のとおりです。 <table><tr><td>調査書，志望理由書及び自己PR書</td></tr><tr><td>100 点</td></tr></table>	調査書，志望理由書及び自己PR書	100 点
調査書，志望理由書及び自己PR書			
100 点			
採 点 ・ 評 価 基 準	志望理由書では，本学で何を学びたいのかの計画が明確に示されているかを評価します。また，自己PR書では，記載された活動履歴やPR内容をもとに，本学で学ぶ意欲とそれに必要な実技の能力等について評価します。		
合 否 判 定 基 準	調査書，志望理由書及び自己PR書を総合して合否を判定します。		

◎ 書類選抜のみになりますので，来学する必要はありません。

(2) 第2次選抜

第1次選抜合格者に対して，次のとおり第2次選抜を実施します。

なお，出願時に選択した分野ごとに「選抜方法」及び「採点・評価基準」が異なります。

選 抜 期 日	令和5年10月14日（土）		
時 間	調整の上，決定		
科 目 等	実技検査（美術・音楽・スポーツから1つを選択します。）及び面接（口頭試問を含みます。）		
選 抜 方 法			
美術分野	実技検査	○ 90分以内で鉛筆による素描のテストを実施します。そのために必要な鉛筆等の画材や道具は各自で準備してください（素描に用いる用紙・画板はこちらで用意します。）。	
	面接 （口頭試問を含みます。）	○ 出願書類及び添付資料（ポートフォリオを含みます。）をもとに，造形芸術に対する関心や基礎的な知識に関すること及び自身の造形実践や経験の内容，入学後の取り組み等について質問します。 なお，ポートフォリオに含まれる作品の実物（2点以内）を準備してください。 作品は受験者本人が一人で持ち運びできる大きさのものに限りします。	
音楽分野	実技検査	○ 【声楽】【ピアノ】【管弦打楽器】受験者は，第1次選抜で提出した動画データの楽曲を演奏してください。演奏を途中で止める，又は演奏箇所を指定する場合があります。 ○ 【声楽】受験者で，ピアノ伴奏が必要な場合は伴奏者を同伴してください。【管弦打楽器】受験者は，無伴奏で試験を行います。 ○ 【作曲】受験者は，機能と和声に基づく四声体のバス課題（三和音及び属七の和音による）を実施します（所要時間90分）。 ○ 受験者全員に対し「コールユーブンゲン」の試験を実施します（第1巻，原書番号No.48～No.87 から1曲を当日指定します。）。固定ド唱法，移動ド唱法のいずれかを用いてください。	

選 抜 方 法		
音楽分野	面接 (口頭試問を含みます。)	○ 出願書類及び添付資料をもとに、音楽芸術に対する関心や、実技検査の演奏曲又は出願時に提出した作曲作品に関すること及び自身の音楽実践や経験の内容、入学後の取り組み等について質問します。 また、音楽の基礎力を問うため、楽典(楽語、音程、音階、調、和音等)について質問します。
スポーツ分野	実技検査	○ 運動能力を評価するためのテストを実施します。実技検査の詳細に関しては、第1次選抜合格時に示します。
	面接 (口頭試問を含みます。)	○ 出願書類及び添付資料をもとに、スポーツ、運動、身体等の知識や思考力に関すること及び自身の運動実践や経験の内容、入学後の取り組み等について質問します。
配点 (分野共通)	実技検査及び面接(口頭試問を含みます。)	100点
採点・評価基準		
美術分野	実技検査及び面接(口頭試問を含みます。)では、美術に関わる基礎的能力(発想力、構成力、造形表現力)と適性、学習意欲及び高校生活における社会活動等の経験などを総合的に評価します。	
音楽分野	実技検査及び面接(口頭試問を含みます。)では、音楽に関わる基礎的能力(演奏能力、楽典等の知識、ソルフェージュ能力)と適性、学習意欲及び高校生活における社会活動等の経験などを総合的に評価します。	
スポーツ分野	実技検査及び面接(口頭試問を含みます。)では、スポーツに関わる能力(スポーツ、運動、身体等の知識や思考力、運動能力)と適性、学習意欲及び高校生活における社会活動等の経験などを総合的に評価します。	
合否判定基準	1 実技検査及び面接(口頭試問を含みます。)の結果により合否を判定します。 2 合格人員の最下位に同点者がいる場合は、この同点者は全員合格とします。	

◎ 地域教育文化学部試験場(山形市小白川町一丁目4-12)において実施します。

第2次選抜に向けた詳細については、第1次選抜合格者に別途通知します。

7 音楽分野受験にあたっての注意事項

管弦打楽器選択者への注意事項

管弦打楽器はフルート、オーボエ、クラリネット、サクソフォン、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、打楽器のいずれかでの受験が可能です（ただし、サクソフォン、ユーフォニアム、チューバ受験者については、入学後の「合奏（オーケストラ）」、また関連の授業において、弦楽器等、別の管弦打楽器を選択してもらうことがあります。）。

8 合格者の発表

(1) 発表日時及び発表方法

合格者の発表は、次のとおり行います。

発 表 日 時	発 表 方 法
第1次選抜合格者発表 令和5年9月22日（金）11時	本学のホームページの「入試案内」に合格者の大学受験番号を掲載します。
最終（第2次選抜）合格者発表 令和5年11月1日（水）11時	

(注) 1 電話等による可否のお問合せには、一切応じません。

2 ホームページによる合格者の発表については、発表直後にアクセスが集中し、ホームページがつながりにくい場合がありますので、その際はしばらく時間をおいてから再度アクセスをしてください。

(2) 合格通知

合格者には、合格者の発表後、同日付けで合格通知書を送付します。

9 入学手続

入学手続は次のとおりです。

(1) 入学手続期間

令和5年12月11日（月）～12月14日（木）（必着）

受付時間は、9時から16時30分までとします。

なお、合格者が令和5年12月14日（木）までに入学手続を完了しないときは、合格者としての権利を消失しますので、十分注意してください。

(2) 入学料

入学手続の際に納付していただきます。

○入学料：282,000円

(3) 提出書類

入学手続の際に提出する書類は、受験票、入学誓書、学生証用写真等です。

詳細については、合格通知の際にお知らせします。

※留意事項（入学辞退について）

やむを得ず入学を辞退する場合には、令和5年12月14日（木）までに「入学辞退願」を提出し、許可を得てください。

また、特別の事情がある場合は、令和6年2月19日（月）までに提出し、許可を得てください。

この入学辞退を許可された場合を除いては、他に出願済の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても合格者となりませんので、十分注意してください。

10 授業料

入学後に納付していただきます。

○授業料：年額535,800円（予定額）

納付方法については、「年1回払い」、「年2回払い」、「年10回均等払い」、「年10回ボーナス併用

払い」から選択できます。

(注) 1 上記の金額は、予定額です。

2 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

3 納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

11 大学入学共通テスト自己採点結果の提出について

総合型選抜Ⅰ（地域教育文化学部地域教育文化学科文化創生コース）の合格者は、「令和6年度入学者選抜要項」の22ページに示す地域教育文化学部地域教育文化学科文化創生コースの大学入学共通テストの利用教科・科目名欄に記載の「5教科6科目又は5教科7科目」について解答し、自己採点結果を地域教育文化学部入試担当へ提出してください（大学入学共通テストの問題等は、インターネットや新聞等で入手できます。）。

なお、これは入学までの期間の勉学意欲継続のため、また、基礎学力を把握し、入学後の学習支援に活用するために行うものです。